

環境活動レポート

“各人が無理なく無駄なく...自分の行動が環境にとってどうなのか”

群馬セキ販売株式会社

作成：2017年3月18日

対象期間：2016年1～12月

目次

◇企業理念・環境方針	-----	2
◇事業活動の概要	-----	3～5
◇環境活動の実施体制	-----	6
◇環境活動計画	-----	7
◇環境目標(本社)	-----	8
◇環境目標(営業所)	-----	9
◇環境活動取組結果	-----	10～11
◇環境活動取組評価	-----	12～14
◇環境関連法規への違反、訴訟の有無	-----	15
◇代表者による総評	-----	16

企業理念

私たち群馬中セキは、農業機械と農業関連商品（製品）の販売やアフターサービスを通じて、季節の移り変わりや、太陽と水、そして、大地の恵と言った地球の自然と深く関わる農業と共に生きております。私たちは農業を支援することで日本の食を守り、より安全な食材を消費者に供給する一端を担うことが使命であると考えております。そのために環境に優しい事業活動を行うとともに、我々の事業活動が、地域社会や地球環境と深く関わり合っていることを認識し、お客様や地域との相互信頼のもとに、事業活動を通じて環境の維持、改善に積極的に取り組み、考え、行動することで、環境に対する継続的改善を実行することを目指します。

環境方針

- 1、環境に関連する法規制等を遵守します。
- 2、環境マネジメントシステム(EA-21 の考え方)を効果的に運用し環境問題のリスクを回避します。
- 3、環境保全のため、次の重点事項の取り組みを行います。
 - 1)当社本社事務所にかかる資源・エネルギーの削減に取り組みます。
 - 2)廃棄物の削減に努めます。
 - 3)水使用量の抑制と適正使用に努めます。
- 4、当社本社事務所の環境レポートを公表し、環境システムを継続的に改善しながら環境コミュニケーションの積極的なレベルアップを行います。
- 5、農業の環境に及ぼす影響を農業機械・資材の販売を通して最小限に抑えるための支援を行っていきます。

この環境方針は、要求があった場合、社外の人にも公開します。

平成 24 年 4 月 1 日

群馬中セキ販売(株)最高責任者
代表取締役 木村 英男

事業活動の概要

(1) 事業社名及び代表者名

群馬中セキ販売株式会社

代表取締役 木村英男

(2) 所在地

本社__前橋市天川大島町 116

(3) 営業拠点

前橋営業所__前橋市天川大島町 116

高崎営業所__高崎市木部町 356-1

太田営業所__太田市西本町 40-35

嬭恋営業所__吾妻郡嬭恋村大笹 188-1

伊勢崎営業所__伊勢崎市連取町 1815

渋川営業所__渋川市半田 2730-3

館林営業所__邑楽郡板倉町西岡 400-1

宮城営業所__前橋市柏倉町 371-1

赤堀営業所__伊勢崎市赤堀今井町二丁目 1286-5

昭和村営業所__利根郡昭和村糸井 6441-40

西部営業所__富岡市藤木日影 257-1

育苗センター__渋川市赤城町栄 793-1

系統推進部__前橋市亀里町 1307-1



事業活動の概要

(4)環境保全関係の最高責任者・管理責任者及び連絡先

最高責任者	木村 英男	代表取締役
環境管理責任者	佐藤 幸治	取締役
連絡先	電話	027-263-3211
	FAX	027-263-1154

(5)事業の規模

設立	昭和36年6月5日
資本金	4,500万円
本社従業員数	26名(H29/1)
総従業員数	103名
本社事務所延べ床面積	1,163 m ²

(6)事業内容

各種農業機械、公園緑地管理機械の販売 修理
農業資材、肥料、農薬、土壌改良材の販売
自動車、家電品、健康医療器、格納庫等生活関連商材の販売
ライスセンター、育苗プラント等の施設推進事業
コイン精米機事業、コイン無人販売機販売
損害保険、生命保険代理業務

事業活動の概要

(7)対象組織

本社事務所：認証・登録日：2006年3月30日

本社整備工場（2007年認証登録）

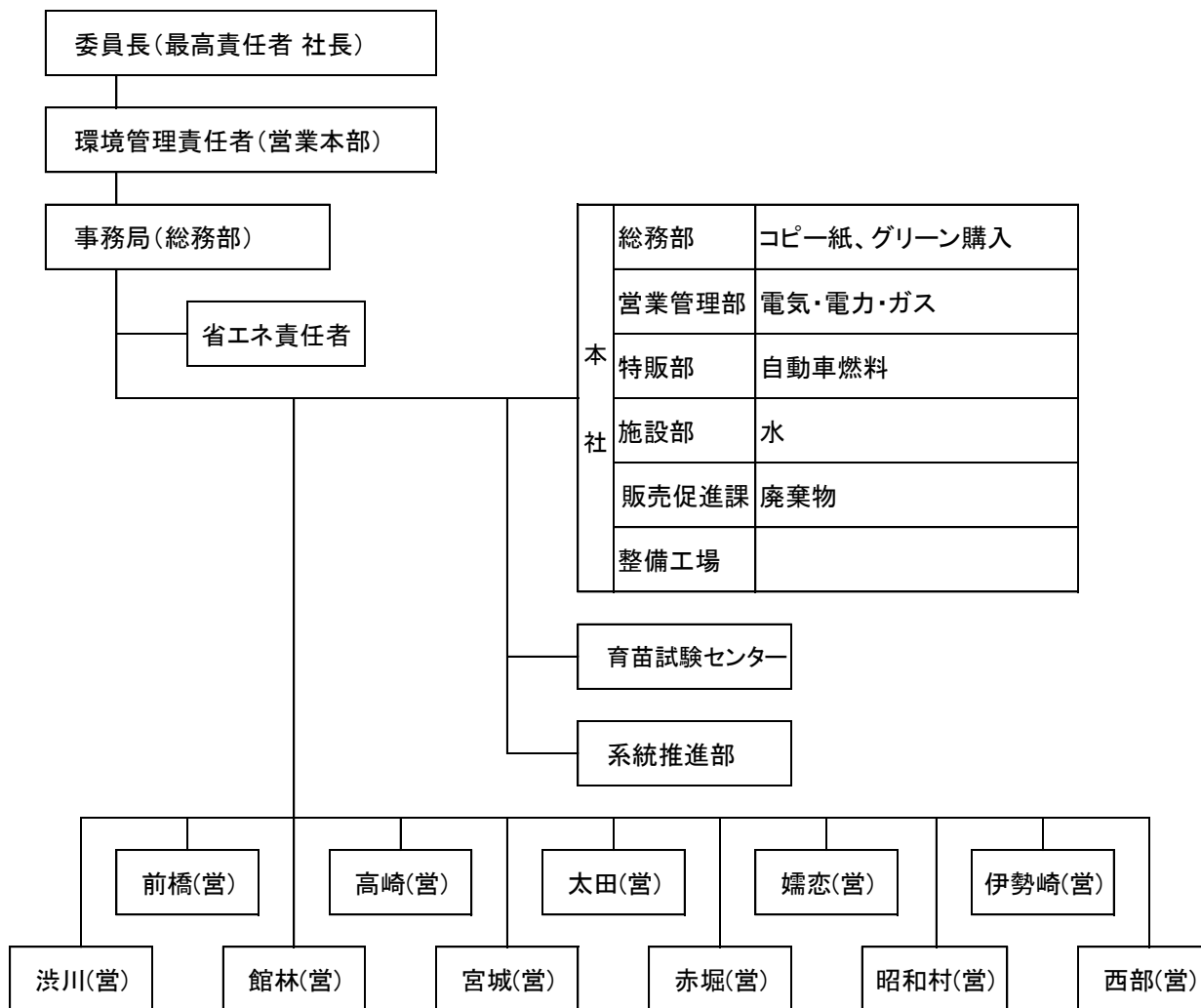
前橋営業所（2012年3月認証登録）

高崎営業所、太田営業所、嬭恋営業所、伊勢崎営業所、渋川営業所、館林営業所、宮城営業所

赤堀営業所、昭和村営業所、西部営業所、育苗センター、系統推進部

（2016年3月認証登録）

環境活動の実施体制



環境活動計画

管理部署	取組項目	取組事項
総務部	コピー用紙の管理 再生品の購入 グリーン購入	コピー、印刷の適正化、ミスコピーの防止 両面コピー、裏面利用の推進 古紙及び再生紙の推進 リサイクル品の推進 グリーン購入の推進
営業管理部	電力の使用 ガスの使用	照明機器管理 照明点灯箇所のチェック スイッチの管理 運転時間の適正化 室内温度のチェック 空調機器の管理 自然光を取り入れる工夫
施設部	水の使用	日常的な節水の推進 毎月のメーター確認(漏水チェック)
販売促進部	廃棄物	マニフェストの管理 収集場所の整理整頓 処分業者の処理場見学
特販部	自動車の燃料	暖気運転の抑制 急発進急加速の抑制 運転記録簿の管理 走行距離の把握管理
営業所・修理工場	上記全般 作業場での環境負荷の軽減	上記全般 近隣住民への騒音、悪臭等の防止 危険物等の使用及び管理 廃油の取扱い 工場内の整理、整頓、清掃

環境目標(本社)

項目	目標
地球温暖化防止	エネルギー起源のCO2排出量削減
水使用量削減※	水使用量削減
廃棄物削減	排出量削減
グリーン購入	グリーン購入の推進
環境配慮製品	環境に配慮した製品の販売促進

項目	基準値	中長期単年度目標「本社」					最終目標
		2016	2017	2018	2019	2020	
電力 (kWh)	80,101	79,059	78,031	77,094	76,245	75,406	75,478
		1.3%	1.2%	1.1%	1.1%	1.1%	
LPガス (kg)	170.8	166	161	157	153	149	149
		2.5%	2.5%	2.4%	2.4%	2.4%	
車燃料 (リットル)	26,192	25,930	25,670	25,413	25,158	24,906	24,928
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
二酸化炭素 (kg-co2)	97,327	96,353	95,392	94,438	93,493	92,558	92,711
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
コピー用紙 (枚)	90,830	89,013	87,232	85,923	84,634	83,364	84,000
		2.0%	2.0%	1.5%	1.5%	1.0%	
水 (m3)	526	512	499	486	476	466	468
		2.5%	2.5%	2.5%	2.0%	2.0%	
産業廃棄物 (トン)	40.51	39.90	39.50	39.10	38.70	38.30	38.21
		1.5%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	

【基準値と最終目標の設定】

- ・基準値：前期の中長期の平均値
- ・目標値：前期の中長期の最も成果を上げた年度

環境目標(営業所)

項目	基準値	中長期単年度目標「本社以外」					最終目標
		2016	2017	2018	2019	2020	
電力 (kWh)	65,489	64,834	64,185	63,543	62,907	62,277	62,215
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
従量電灯 (kWh)	83,800	82,962	82,132	81,310	80,496	79,691	79,610
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
LPガス (kg)	675.5	668	661	654	647	640	641.7
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
車燃料 (リットル)	93,848	92,909	91,979	91,059	90,148	89,246	89,156
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
二酸化炭素 (kg-co2)	297,252	294,279	291,336	288,422	285,537	282,681	282,389
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
コピー用紙 (枚)	59,065	58,474	57,889	57,310	56,736	56,168	56,112
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
水 (m3)	2,869	2,840	2,811	2,782	2,754	2,726	2,726
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	
産業廃棄物 (トン)	161.37	159	157	155	153	151	153.30
		1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	1.0%	

【基準値と最終目標の設定】

- ・基準値：2015年
- ・目標値：2015年から5%削減

環境活動取組結果

	項目	単位	2015年	目標値	2016年	結果(増減率)		1人当たりの年間使用料	
			実績		実績	対前年	対目標	2015年/28.6人	2016年/25.1人
本社	電力	KWh	75,478	75,478	74,213	▲1.7%	▲1.7%	2,639	2,957
	ガス(LPG)	kg	183	149	116	▲36.3%	▲21.9%	6	5
	自動車燃料	リットル	24,928	24,928	21,929	▲12%	▲12%	872※1	874※1
	二酸化炭素	kg-CO2	93,462	92,711	90,016	▲2.9%	▲3.7%	4,450	4,500
	水	m3	490	468	473	1.1%	▲3.5%	17	19
	廃棄物	トン	41	38	39	1.8%	▲3.9%	1.4	1.5
	コピー用紙	枚	84,000	84,000	89,000	6.0%	6.0%	2,937	3,546
※12月末の保有台数:2015(21)2016(20)									
	項目	単位	2015年	目標値	2016年	結果(増減率)		1人当たりの年間使用料	
			実績		実績	対前年	対目標	2015年/76.7人	2016年/78.5人
本社以外	電力	KWh	65,489	62,215	62,130	▲5.1%	▲0.1%	853	791
	従量電灯C		83,800	79,610	87,092	3.9%	9.4%	1,092	1,109
	ガス(LPG)	kg	676	642	770	14.0%	20.0%	8	9
	自動車燃料	リットル	93,848	89,156	91,136	▲2.9%	2.2%	1,268	1,160
	二酸化炭素	kg-CO2	297,252	281,533	300,878	1.2%	6.08%	4,016	4,065
	水	m3	2,869	2,726	2,577	▲10.2%	▲5.5%	37	32
	廃棄物	トン	161.37	153.30	189.73	17.6%	23.8%	2.1	2.4
	コピー用紙	枚	59,065	56,112	58,200	▲1.5%	3.7%	770	741
※12月末の保有台数:2015(74)2016(74)									

2016年から排出量を把握する際に用いた電力の排出係数は、0.496(kg-CO2/kWh)

環境活動取組結果

環境配慮		2015 年実績	2016 年実績
グリーン購入	購入率	73.3%	82.2%
製 品	トラクタ	1/291(0.3%)	14/263(5.3%)
	コンバイン	7/45(15.5%)	14/40(60%)
	田植機	26/73(35.6%)	25/79(31.6%)
販売実績(割合)			

環境活動取組評価

担当部署	取組項目	コメント(前年比)
総務部	コピー用紙 再生品 グリーン購入	<p>開始当初からの取組も定着化し成果への結びつきが厳しくなってきたため、新たな取り組みを検討したい。増減の要因はチラシ等の作成による購入枚数が考えられる。</p> <p>グリーン購入は積極的な購入を心掛けているが、購入に掛ける費用を抑えることも考慮しているため100%は厳しい</p>
営業管理部	電力 ガス	<p>デマンドによる監視と空調機の設定温度を徹底したことが成果に繋がっているが、2016年は冬場の設定温度(1℃↑)を変更したため増減を見込んでいたが、結果減少となった</p>
		<p>2010～15年の中長期では使用料が増加傾向にあったため給湯器の使用場所(洗濯機)を制限し、飲料用に沸かす湯量も減らしたことなどが成果につながったと言える</p>
施設部	水	<p>飲料用に沸かす湯量を減らした取組が成果につながった</p>

環境活動取組評価

担当部署	取組項目	取組項目	コメント(前年比)
販売促進部	廃棄物	排出量の抑制 マニフェストの管理 分別の徹底 収集場所の整理整頓 処分業者の処理場見学	主に木くずの廃棄量が減ったため
特販部	自動車の燃料	使用量の削減 暖気運転の抑制 急発進急加速の抑制 運転記録簿の管理 走行距離の把握管理	車両入替等による保有台数1台の減が減少になった
全社	製品	環境配慮商品の販売推進	○
	グリーン購入	事務用品等の環境対応商品の優先購入	△
	環境関連法規の遵守	産業廃棄物の適正処理、マニフェストの交付	○
		汚水、廃油等の漏れ等による環境汚染防止	△
	緊急事態への対応	年一回、火災・オイル漏れ時の訓練の実施	×
社員教育	朝礼の活用、所内での掲示	○	

環境活動取組評価

担当部署	取組項目	取組項目	コメント(前年比)
本社以外	省エネ 省資源	電力使用量の削減 運転時間の適正化、適温励行(夏 28℃、冬 23℃) エアコンのフィルタ清掃 無人エリア消灯の徹底	2016 年に認証登録したことで 本社の取組を全社展開するた め、EA21 の環境方針の理解と 環境への取組の重要性を説明 し働きかけてきたことが意識向 上につながり成果に結びつた といえる
		水道使用量の削減 節水意識の啓発	
		ガス使用の節約 使用の適正化	
		車輛燃料の節約 運転記録簿 エコドライブ 10 の取組 適正な車両整備(自社・会社)	
	廃棄物	排出量の削減 分別収集の徹底 収集場所の整理整頓	
		コピー用紙の削減 両面印刷、裏面利用 使用済封筒の再利用	
		リサイクル、リユースの推進 リサイクルトナーの使用	

環境関連法規への違反、訴訟の有無

関係する環境関連法規	要 求 事 項
毒劇法	盗難防止に施錠、容器や貯蔵場所には適切な表示
廃棄物処理法	産業廃棄物処理業者と委託契約を締結しマニフェストの管理を徹底する。またゴミの分別を徹底することやゴミ置き場とその周辺の整備に努める
家電リサイクル法	使用している家電製品をなるべく長期間使用することにより、廃棄物の排出を抑制するよう努める。 また排出時には小売業者への適切な引渡し及びリサイクル料金を支払
自動車リサイクル法	自動車をなるべく長期間使用することにより、使用済自動車となることを抑制するよう努める。 また資金管理人への再資源化等預託金の預託義務と引取業者への使用済自動車の引渡しを義務とする
消防法	市火災予防条例に基づく少量危険物の取扱に関する事項の遵守。また当社の消防計画に沿って避難訓練を実施し、計画が効果的かの見直しを図る。
フロン回収破壊法	特定製品が廃棄される場合、フロン類の適正かつ確実な回収、破壊及び排出の抑制に必要な措置を講ずる
悪臭防止法	整備工場において悪臭が発生すると思われる作業については防止対策を講ずる。
浄化槽法	保守点検及び清掃
小型家電リサイクル法	再資源化を適正に実施し得る者に引き渡すよう努める
フロン排出抑制法	第一種特定製品(対象設備)の把握と簡易点検の実施及び記録簿の保存

当社に適用される主な環境関連法規は以上の通りです

当社に関する環境法規に対しての違反の事実や、関係機関等から環境関連法規等の違反についての指摘等は現在のところありません

又、訴訟等も同様にありませんでした

総 評

本社、営業所に加えすべての事業所が対象となつてのエコアクション活動。本社ではすでに活動が体に染みついてきているが、本社以外の各事業所ではまだまだ活動が他人事のようで、個々の行動の中にエコ・環境を意識した動きが見られない。

内部統制を含め、コンプライアンスの意識付けやグループ内企業倫理など同等に事業所内での話し合いや朝礼での意識統一により常に身近にエコアクション活動を置いておくことが必要に思える。実際、環境活動の推進体制にもあるように、組織的には整っているようになっているが実際にその組織が機能しているかとなると少し疑問が残る。本社と同じように個々の意識付けを強めるために各事業所でもそれぞれに責任を持たせ日々の行動の中に活動を生かしていればより効果が上がってくるのではないかと思う。

また、効果を上げる手段として行動だけでなく使用機器の買い替えも考慮していかなければならなくなってきている。例えば古いエアコンは熱交換効率が悪く、電気量を多く使う、また古い車は燃費が悪い上に排ガス性能も悪い。当社取扱いの農業用のエンジン搭載の機械も、ここ数年は毎年それぞれの馬力、排気量帯において排ガス規制を受けた新型エンジン搭載機が発売され、一巡すると排出規制がより一層高められた商品の開発・発売となっており、更には、作業効率(重複した耕耘や施肥等)を高めるためにGPS搭載の農業機械の開発や一工程で複数の作業をこなす農業機械の開発も次々と進んでおり環境配慮型の商品開発が求められている。

早急に、全ての事業所内の個々の意識を取扱商品同様に高め、販売する機械を媒体にお客様まで我々の環境に対する思いを広めていくことを直近目標に据え、まずは全社展開を本物にしていきたい。